

学べば学ぶほど、いままでわからなかったことがわかるようになり、それによって自分の視野が広がります。

「学べば学ぶほど」という日本語から、いわゆる **the 比較級**, **the 比較級**「～すればするほど、…」の構文を使おうと思いました。前半の「～すればするほど」に「学べば学ぶほど」にあたる英語を入れればいいのですが、後半の「…」には、どの範囲の日本語を入れるか、少し悩みました。「いままで」から、①「わかるようになり」までなのか、それとも②「広がります」までなのか。。。実際は、①にして、「それによって自分の視野が広がります」の部分で、その後付け加えるというも **OK** ですが、ここでは②を選択しました。前半と後半を分けて英語にしていきます。

## A. 学べば学ぶほど、

---

the 比較級の部分を文頭に表現することはわかっているのですが、まず、慎重を期して、「すればするほど」を抜いた、「学ぶ」をベースにして、そこから文を作ることになりました。

「学ぶ」というと、**study** や **learn** が浮かんでくると思います。前者は【学ぶ過程】を強調し、習得しているかどうかは不問です。逆に後者は【習得】に力点が置かれています。ただ学ぶだけではなく、習得までしないと、「今まで分からなかったことがわかるように」はならないので、ここでは、

### ▪ S learn A 「SはAを学ぶ」

を使うことにしました。

#### (1) S learn A

Sに入れる【学ぶ主体】は、【一般の人】なので、**we** でも **people** でもいいと思いますが、ここでは **you** を使うことにしました。Aに入れる【学ぶ内容】は、ここでは指定されていません。なので【一般的な物事】を表せる **something** や **things** が候補になりますが、ここでは、**things** を入れることにしました。

そもそも「～すればするほど」の中に、【増加】を表すために、形容詞や副詞で作られる比較級が必要になります。今回【増加】しているのは、【学ぶ頻度】などではなく、【学ぶ量】です。それを表せるのは **many** や **much** ですね。 **things** は可算名詞の複数形なので **many** を選び、**many things** としました。

#### (2) you learn many things

そして、**many** の部分を **the 比較級**にしてそれを含むカタマリを先に表現しておきます。

(3) the more things you learn \_\_\_\_\_

**B. いままでわからなかったことがわかるようになり、それによって自分の視野が広がります。**

---

では後半部分です。二つの文で構成されているので、バラバラで作  
り、最後に **and** でつなげます。この部分もまた、**the** 比較級の構文  
の後半部なので、**the** 比較級の部分をカタマリの初めに置かなけれ  
ばいけません。が、ミスをしないよう、ベースの形から作ることに  
しました。

**(a) いままでわからなかったことがわかるようになり、**

---

述語「わかるようになり」から考えます。

**a. ことがわかるようになり、**

---

ここではただ【知識として知っている】だけではなく、【仕組みなどもわ  
かる】ということを表していると考え、

▪ **S understand A 「S は A を理解する」**

を使います。「なり」の部分は、**begin** や **start** でも表せますが、

▪ **S come to DO 「S は DO するようになる」**

を利用して、組み合わせ、ベースとなる **S come to understand A** が  
できあがりします。【なる】が現在形で表されると【学ぶと必ずわかるよ  
うになる】というニュアンスが生じかねないと思い、**will** を足してお  
きました。

**(4) S come to understand A**

**S** は【一般の人】なので、引き続き **you** をいれます。**A** には「こと」  
を入れます。【一般的な物事】なので **things** を入れます。

(5) you come to understand things

## b. いままでわからなかった

---

この時点で「いままでわからなかった」が余ります。この部分は (S)(V) を使って表せそうで、「こと」につながっていることから、**things** を先行詞として、関係詞節を作るといいと思いました。

まず、述語「わからなかった」から考えます。ここでは【知識として知っている】わけではないと解釈できそうなので、**know** を使います。「いままで」と「わからなかった」とくると、現在完了形と **so far** を用い、

### ▪ S haven't known A so far 「S は今まで A を知らなかった」

と書きたくなります。しかし、現在完了形は【今の状態】も表しますし、**so far** も【現在まで】というニュアンスで、【現在】を含みます。つまり、両者とも、【現在も知らない】ということを表してしまいます。【その時点で知らない状態】であれば、「視野」も「広がる」ことはありません。なので、【その時点】である【現在】を含まない述語の形である【過去形】、さらに【現在】を含まない「それまで」である **before** を選び、

### ▪ S didn't know A before

としました。

(7) S didn't know A before

S に入れる【わからなかった人】は、引き続き【一般の人】なので、**you** を入れます。A に入れる【知っている内容】は、先行詞の **things** と同じ内容です。ここを関係詞 **which** とします。

(8) you didn't know which before

この部分全体で、(5) you come to understand things の things を修飾する関係詞節です。which をカタマリの先頭に置きます。

(9) which you didn't know before

c. a. + b.

---

関係詞節である(9)を、先行詞である(5) you come to understand things の things の後ろに挿入します。

(10) you will come to understand things which you didn't know before

**(b) それによって自分の視野が広がります。**

---

述語である「広がります」はいくつかの候補がありますが、「視野が広がる」となると、いくつかの候補に限られます。

▪ S broaden A's view 「S は A の視野を広げる」

などの定型表現もありますが、これだと、比較級を作るための形容詞、副詞が見つかりづらくなります。

比較級自体は【変化】を表しています。それを考慮して、「視野が広が

る」のうち【**変化**】を抜いたイメージである「視野が広い」を英語で表現ができ、さらにそれに形容詞や副詞が入っていれば、強引かもしれませんが、上手に the 比較級の構文ができると思いました。ここでは、

▪ **S have a wide view 「S は広い見方を持っている」**

を利用することを思いつきました。「わかるようになり」と同じく、現在形にしておく【**いつも必ず広がる**】というニュアンスになってしまいます。それを和らげるために、

▪ **S can DO 「S は DO する可能性がある」**

を利用することにしました。

(11) **S can have a wide view**

**S** である【**視野が広がる主体**】は【**一般人**】なので **you** を用います。あと、**a view 「見方」**は問題文だと、複数ありそうです。実際には **a view** でもいいのですが、ここではイメージしやすい **views** を採用します。

(12) **you can have wide views**

「それによって」は表現してもいいのですが、**and** で十分に表せていると思い、特に表面には出さないことにしました。

(c) (a) + (b)

---

二つを , **and** でつなげて、**the 比較級**を作ります。

- (13) **you come to understand things which you didn't know before, and you can have wide views**

ここでも、【増加】を表すために、形容詞や副詞で作られる比較級が必要になります。【増加】しているのは、【学ぶ量】ですね。それを表せる many を things に足しておきます。

- (14) **you come to understand many things which you didn't know before, and you can have wide views**

many things と wide views の many と wide をそれぞれ比較級にし、前に the をつけて、それぞれのカタマリの前に置きます。

- (15) **the more things you come to understand \_\_\_\_ which you didn't know before, and the wider views you can have \_\_\_\_\_**

ここで気を付けたのが、the more things の修飾表現である which you didn't know before もセットで前にもっていかなかったことです。これはなかなかできないことかもしれませんが、長すぎる修飾語は置いていく傾向があるのを知っていたので実現しました。

C. A. + B.

---

A.で作った前半部(3)と B.で作った後半部(15)をつなげます。the 比較級, the 比較級「～すればするほど、…」の構文は、前半のカタマリと後半のカタマリを、カンマだけでつなぐことができます。

(16) The more things you learn, the more things you come to understand which you didn't know before, and the wider views you have.

最後に、なくてもよい操作なのですが、**the more things** が繰り返し使われている部分を見てみました。I want to eat more.「もっと食べたい」のように、**Seat A** の **A** には、「もっと多く」を表す **more** を置けます。これを使い、文頭の **The more things** を **The more** にします。

(17) The more things you learn, the more you come to understand which you didn't know before, and the wider views you have.

### Model Answer

The more you learn, the more things you come to understand which you didn't know before, and the wider views you have.